

発行者 千葉県総合企画部報道監広報グループ  
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1  
電話 043-223-2061(佐久間)  
FAX 043-227-0146

さらに情報をお知りになりたい方は、次までどうぞ。  
Eメール [chiba-news@mz.pref.chiba.jp](mailto:chiba-news@mz.pref.chiba.jp)  
ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/>

ニュースリリースは、千葉県の重点施策への取組や県内のイベントなどの最新情報を、主に在京のメディアの皆様向けにお届けします。お問い合わせは、報道監広報グループ、または各記事の担当までお願いします。

## 安全・安心な“ちばエコ農産物” / 販売協力店が120店舗になりました



ちばエコ農産物の認証マーク

“ちばエコ農産物”は、日本一の安心農産物「千葉ブランド」のシンボルです。その販売協力店の数が、120店舗になりました。

県内のデパート・スーパー・生協はもとより、11月末からは、東京や神奈川など周辺都県にも広がっています。都内を中心に展開するスーパー「成城石井」もそのひとつで、“灯台キャベツ”で知られる銚子産の“ちばエコ農産物”(「ちばエコ」)キャベツを15店舗以上で扱い、導入当初から評判が良いということです。

販売協力店の情報は、県ホームページからご覧になれます。 < “ちばエコ農産物あれこれ” 参照 >

今年、4月～11月に生産された主な「ちばエコ」は、だいこん2万5628トン、キャベツ1万7771トン、にんじん6942トン、水稻1816トンなど。

食品の安全・安心を求める声が高まるなかで、県内では、生産者の熱心な取り組みにより「ちばエコ」の栽培面積は昨年に比べて倍増し、1617haになりました。

県ではさらに、来年3月までに2000haまで拡大する計画で、個々の農家に働きかけるだけでなく、産地指定制度により産地ごとの取り組みを支援するなどして栽培面積の拡大に努めています。

また、「ちばエコ」の消費拡大を図るため、栽培履歴がわかるトレーサビリティの確保や、品質の良さを知ってもらうための見本市の開催、消費者の皆さんに「ちばエコ」を応援してもらうための産地交流会(次回予定：3月下旬に、海浜地域で、だいこん・キャベツの収穫体験)の支援などにも取り組んでいます。

「ちばエコ」は、技術的な問題、コストや収入面の問題などから、必ずしも必要量が供給されるまでには至っていません。現在の栽培面積は全作付面積の1.5%に過ぎず、今後「ちばエコ」が市場で評価を受けていくためには、相当量を安定的に供給できる体制の確立が課題と考えています。



産地で取り組む生産者グループの皆さん

### “ちばエコ農産物”あれこれ

**ちばエコ農産物は** 化学農薬の使用回数と化学肥料の使用量を、栽培技術基準の2分の1以下に抑え、さらに、県が行う栽培計画段階と収穫前の2つの審査をパスしてはじめて、“ちばエコ農産物”として出荷されています。特に、収穫前の審査では、専門職員が田畑に出向いて厳しいチェックを行っています。今年度は、11月までに、米・キャベツ・だいこん・ニンジンなど44品目、約6万トンが食卓に届けられました。

**インターネットで、生まれ育ちがわかります** ホームページ「ちばエコ農業情報ステーション」では、“ちばエコ農産物”の包装袋や箱に印刷された「認証番号」から、生産者や栽培管理責任者の名前、種播きから収穫までの時期、土づくりの方法と施肥、使用した農薬と使用時期などがわかります。また、産地や販売協力店の情報も載っています。ぜひご覧ください。 <http://www.agri.pref.chiba.jp/eco/index.html>

## 人と里山の新たな関係を考える / 里山フォーラム IN ちば



里山活動に取り組む市民

来年1月23日(日)、里山フォーラムINちばが市原市で開催されます。

県では、昨年5月、全国に先駆けて「里山条例」を施行し、市民や企業の皆さんと力を合わせて、かけがえのない里山を次の世代に引き継いでいくこととしました。

里山活動を行う市民や企業の取り組みも拡がりを見せています。里山活動団体と里山所有者の間で結ばれる活動協定の数は26件になり、県ではその活動を支援しています。また、今年9月には、県内の18の里山活動団体が協力し合って「ちば里山センター」がつけられ、里山活動の新たな拠点となっています。

「里山フォーラムINちば」では、鴨川市に在住の歌手の加藤登紀子さんと堂本知事が対談するほか、里山で活動する団体や企業が集合して、それぞれの取り組みを紹介します。平成17年1月23日(日)13時～16時、市原市市民会館(市原市惣社)で開催。参加ご希望の方は、直接会場までどうぞ(申込不要)。

ホームページ：<http://www.agri.pref.chiba.jp/nourinsui/11midori/>

(担当：農林水産部みどり推進課 TEL 043-223-3684 FAX 043-224-4108)

## 「大野屋旅館」(成田市)が、国の登録有形文化財に

このたび、国の文化審議会は、成田山新勝寺の表参道に面して建つ「大野屋旅館」を登録有形文化財とするよう、文部科学大臣に答申しました。約2カ月後に登録される見通しです。

この建物は、昭和10年に建築された、間口8間、奥行14間の木造3階建てで、1階から3階まで上質の部材を使用しており、戦前の旅館建築を現代に伝える代表的な建築物です。屋上に望楼をいただき、参道に向かって縁を張り出している姿は、店舗が建ち並ぶ門前でも、一際目立ちます。内部には、3階に60畳と54畳の2間続きの大広間や床板に桐材を使った能舞台も設けられています。現在は、漬物などのみやげ物の販売や食事処を営んでおり、望楼や3階は一般公開していません。



(担当：教育庁教育振興部文化財課 TEL 043-223-4085 FAX 043-221-8126)

## 観 光 / イ ベ ン ト

春爛漫花いっぱいin南パラ (1月1日～3月31日、館山市 南房パラダイス)



“一足早い春”を象徴する“菜の花”と、熱帯・亜熱帯の植物、楽しいふれあい動物に会える新春イベントです。“花と楽しさいっぱい”をテーマに、食用菜の花の摘み取り、切り花フェスタ、押し花工房をはじめ、10体の花で作った楽しい動物のトピアリー(立体花壇)を展示します。その他、企画展や楽しいイベントも開催します。

繁殖記録世界一を更新したコツメカワウソ(写真)の子ども4匹も、みなさんのお越しをお待ちしています。(お問い合わせ：千葉県南房パラダイス TEL 0470-28-1511)

第21回千葉県指定伝統的工芸品展 (2月23日～2月28日、千葉市 千葉そごう8階大催事場)

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた千葉県には、その風土と歴史の中で育まれてきた貴重な工芸品がたくさんあります。県では、こうした伝統的工芸品の普及や振興を図るため、年に一度、県内の優れた伝統的工芸品を一堂に集め、製作実演・販売を行います。

(お問い合わせ：千葉県物産協会 TEL 043-227-8022)

アメリカ伊能大図里帰りフロア展 (1月22日～23日、幕張メッセ イベントホール)

FCI千葉インターナショナルドッグショー (1月23日、幕張メッセ展示場1～2ホール)



房州うちわ

(訂正) 前号でご紹介した「第5回勝浦ビッグひな祭り」の記事中、遠見岬神社のフリガナが(とみさき)となっている版がありました。正しくは、(とみさき)ですので、訂正して、お詫びします。